

27



症例

患者：中学生女兒

年齢：14歳（1993年生まれ）

入院年月日：2007年4月29日

診断名：熱せん妄

転帰：軽快

主訴：発熱、異常行動

家族歴、発達歴、予防接種歴：特記すべきことなし。成績は上。

既往歴：特記すべきことなし。常用薬なし。異常行動の既往なし。

現病歴：2007年4月27日夜から29日まで、38度の発熱あり。「頭がぼわんとする」と訴えていた。市販の総合感冒薬を内服したが著変なかった。29日16時頃頭痛あり。「頭がおかしい。ベッドから落ちそうな感覚。怖い夢をみてベランダから飛び降りそうになる」などの訴えあり。トイレに行こうとして玄関に出ていってしまい、結局部屋にもどったが、このことを母に訴えた。一時、ろれつがまわりにくくなった。発熱、異常行動を主訴に29日夜当院救急外来を受診した。

現症：体温40.6℃、脈拍80回/分、血圧96/50 mmHg、呼吸26回/分

眼振なし。眼球運動正常。構音障害なし。項部硬直なし。ケルニツヒ徴候なし。

腱反射亢進なし。病的反射なし。四肢の異常運動なし。

咽頭軽度発赤。胸腹部異常なし。浮腫なし。発疹なし。チアノーゼなし。

意識：JCS1。ややボーとした感じはあるが意思疎通に問題なし。座位、立位不能。「ベッドにじっと寝ていられない感じがする。ベッドから落ちそう」と訴えるが実際は安静に臥床している。「手が焼けるように熱い」と訴えるが実際は熱くなく冷感あり。頭痛、嘔気、嘔吐なし。

検査所見：インフルエンザ抗原迅速検査でA+（抗体検査で確認済み）

pH 7.397, pCO₂ 40.4, HCO₃ 23.0, BE-0.6, Glu 99, Lac 12.1

WBC 6200, Hb 14.0, Plt 18.7万, CRP 0.2

TP 7.0, AST 27, ALT 14, LDH 190, CK 84, Ca 9.5, Na 134, K 4.0, Cl 100,